

令和 8 年度

「運営に関する計画」

大阪市立高殿南小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、現在10学級(内特別支援学級2学級)、児童数が173名の小規模の学校である。

校内に学習で使う田んぼがあったり地域住民から寄贈いただいた昔のくらしがわかる道具を展示したりしている部屋がある。また、校外よりオリンピック選手や音楽や演劇など芸術に関するゲストティーチャーを招き、本物に触れる実体験を伴った教育活動をすすめることを特色の一つとしている。

1年生から6年生までの児童でたてわり班を編成し、全校遠足やたてわり集会、みなみフェスティバルなど、年間を通してたてわり活動に取り組んでおり、1年生から6年生まで仲が良い。また、小規模であるが故、指導者からも目が行き届きやすく一人一人の思いを大切にしたオンリーワンの教育を進めている。

あいさつとそうじをしっかりとできる子どもの育成に取り組んできたが、習慣となっている児童がいる反面、あいさつ強調習慣等の取り組み期間以外にきちんとできない児童がいる現状がある。

これまで、大阪市学力経年調査の児童質問紙の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目に対し、大阪市平均を大きく上回り、対話を通して、考えを深める児童が育ってきたことは「主体的・対話的で深い学び」を推進してきた成果であったと考える。また、授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、令和7年度には92.3%となり、便利な文房具として活用できるようになってきた。しかしながら、「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均どのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、3時間以上と回答する児童の割合が多いことが浮き彫りになったが、令和6年度そして7年度と取り組みを進めた結果、3時間以上と回答する児童も少なくなり、目標を達成した。昨年度からは、一人一台端末を毎日持ち帰るようになり、使用時間や方法等、家庭でのルールがより大切になってくることを感じている。

また、令和7年度の大阪市学力経年調査の児童質問紙の「算数の勉強は好きですか」の項目に対し、肯定的に回答する本校児童の割合37.9%であったのに対し、大阪市平均は肯定的に回答する児童の割合が32.8%であった。また、「算数の授業内容はよく分かりますか」の質問項目に対して、肯定的に回答する本校児童の割合45.7%であったのに対し、大阪市平均は肯定的に回答する児童の割合が41.1%であった。本校はこれまで小規模校であることを生かし、少人数指導や習熟度別授業などさまざまな学習形態をとってきた。学力が大阪市平均は越えてはいるものの、好きだと回答する児童や学習内容がわかる児童をもっと増やしたいと考える。そこでボリュームゾーンにあたる児童のポイントを向上させ、小6時点での変化率を見極めたいと考える。

体力面においては、令和6年度から取り組んだ体育の研究、また運動週間、ゲストティーチャーの招聘等、運動に親しむ子どもを育成する中で、楽しみながら体力をつけてきた。令和7年度の全国体力・運動習慣調査において、男子は9項目のうち全項目において、全国平均を上回っており、女子は、5項目が全国平均を上回る結果であった。男子は、握力が課題であったが、課題を達成するための運動をする中で、全国平均を上回

った。令和7年度は上回ったが、それまでは、さまざまな取り組みを進めても本校ではずっと課題であった。対象児童が変わるとまた下回ることも考えられ、課題の分析と運動の継続をしていく。

また、大阪市学力経年調査の児童質問紙の「読書は好きですか。」に対し、肯定的に回答する児童が本校は82.4％であり、大阪市の平均の70.9％を上回った。しかし、「ふだん《月～金曜日》、1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか」に「1時間以上」と回答する児童の割合は本校が8.9％であり、大阪市の9.1％をわずかに下回っている。学校図書館や学級文庫など、学校内に読みたくなうような本の設置を進める。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 校内アンケートの「進んであいさつができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7 68%)
- パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS 等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R8 新設)
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R8 新設)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より1ポイント向上させる。※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率
(R8 新設)
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.04ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しようしましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を85%以上にする。(R8 新設)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月17時間50分以下とする。
(R7 18時間50分)
- 小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R8 新設)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 校内アンケートの「進んであいさつができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS 等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より0.3ポイント向上させる。※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より0.01ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しようしましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月18時間35分以下とする。
- 小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立高殿南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ○校内アンケートの「進んであいさつができますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ○パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査における「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む）を利用する時のルールはありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【2、豊かな心の育成】 ・ あいさつカードを活用して自分のあいさつに対しての評価をすることで、あいさつすることに対しての意識を高められるようにする。 ・ 児童会によるあいさつ週間を実施し、啓発を図る。 ・ どのあいさつをする際にも、めあてをもたせてあいさつができるように指導する。	
指標 ・ 偶数月には、各クラスで、1週間のあいさつカードを活用し、全クラスを1ヶ月で順番に回し、習慣化を図る。 ・ 奇数月には、児童会によるあいさつ週間を実施し、啓発を図る	
取組内容②【1、安全・安心な教育環境の実現】 ・ 学級懇談会や学期末個人懇談会の際には、「家庭内でスマートフォンなどの機器を利用する際のルールがあるかどうか」についての話題に触れ、情報の共有や啓発を進める。 ・ 学校だより、学年だより、長期休暇時のお便りに、「家庭でのスマートフォンなどの機器を利用する際のルール」があることによるよい点やないことによる悪影響などを記載し、啓発する。 ・ 生活アンケートの項目の中に、新しく「スマートフォンなどの使い方のルールをまもっていますか」の項目を追加することで、児童の意識を高めさせる。	
指標 ・ 学級懇談会や学期末個人懇談会の際には、「家庭内でスマートフォンなどの機器を利用する際のルールがあるかどうか」についての話題に必ずふれるようにする。 ・ 1学期の個人懇談会の際に、生活アンケートの新項目について説明し、家庭内でのルールを作ってもらえるようにする。	

取組内容③【２、豊かな心の育成】 ・ 学習においては、子どもたちが「できた」「分かった」と実感できる場面を設定し、達成感を味わわせることで自己肯定感の向上を図る。また、道徳科や保健の学習においては、相手の立場に立って考える姿勢を育む授業づくりを行う。 ・ 学習活動に加え、学校生活のあらゆる場面で対話の機会を設け、細部の確認や意見のすり合わせを行い、互いの良さを積極的に称賛しながら合意形成を促す活動を継続的に行う。	
指標 ・ 人権教育の年間指導計画において、子どもたちが自分の良さに気づくとともに、相手の立場に立って考える力を養うことを目的とした学習活動を、年間で１回以上実施する。 ・ 学校生活の様々な場面において、その都度ていねいに対話を行い、子どもが自分の良さを認識できるように促すとともに、相手の立場に立って考えられるようにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立高殿南小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を前年度より 0.3 ポイント向上させる。※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女ともに前年度より 0.01 ポイント向上させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【4、誰一人取り残さない学力の向上】 ・ 各クラス・各児童の実態に応じた指導形態（習熟度別学習や少人数指導など）を工夫する。	
指標 ・ 4 年生以上で毎単元、習熟度別学習や少人数指導、T1T2 を活用した指導を取り入れる。	
取組内容②【5、健やかな心の育成】 ・ 全国体力・運動能力、運動週間等調査に向けて、握力を重点課題として捉え、校内に握力コーナーを設置し、休み時間などに誰もが自由に握力計を使用して記録に挑戦できる環境を整えることで、日常的に握力向上に取り組めるようにする。また、年間を通して体育科の授業においても、握力向上につながる感覚づくりの運動を意識的に取り入れる。さらに、年間を通して運動週間を設定し、体育科授業や休み時間を活用して、走る・跳ぶ・投げる・支えるなど多様な運動に親しむ機会を確保することで、体力テストに向けた運動意欲と体力の向上を図る。	
指標 ・ 学期に 1 回以上、運動週間を設定して実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立高殿南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を75%以上にする。 ○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月18時間35分以下とする。 ○小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ・授業において、学習者用端末でのスカイメニュー、タイピング、インターネット検索、カメラ、QRコード、プログラミング、NHK for school 視聴、デジタルドリル、Google Classroom、forms、canva、などの活用を図る。	
指標 ・授業において週3回以上、児童が学習者用端末を活用できる場を設定する。（週に1回以上、10分程度タイピングタイムを設定する。）	
取組内容②【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教員の時間外勤務削減に向けて、校時の変更や削減に取り組み、業務の効率化を図る。	
指標 ・本年度より変更した校時表や成績2期制等について、年度末に各教科の授業時間数を削ることがないように、進捗状況を毎週確認しながら進めていく。 ・会議や行事の精選、会議時間を短縮することで、児童と向き合う時間や教材研究の時間を確保する。 ・ワークライフバランスの実現を目指し、時間外勤務の減少を図る。	
取組内容③【8、生涯学習の支援】 ・児童が進んで読書をしたくなるように本の充実を図るとともに、児童の学校図書館や学級文庫、読書コーナーを活用した学習・読書活動を推進する。	
指標 ・前期には、「児童の読みたい本」のアンケートを実施し、学校図書館や学級文庫に多種多様な本の充実を図る。 ・後期には、「読書コーナー月間」を設定し、各学級で児童各々が好きな本を持ち寄り、自分で読んだり友だちの本を手にとったりできるようにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--